1 コラム

京都市の経済がもっと分かる

～ 産業連関表から見た京都市経済 ～

国や京都市等では，いろいろな統計調査により，事業所数，従業員数，生産額等の数値をとりまとめ，京都市の経済状況を明らかにしてきました。

平成２９年には，新たに「京都市産業連関表」を作成することで，産業間や市外との取引状況など，様々な角度から産業の特徴も分かるようになりました。

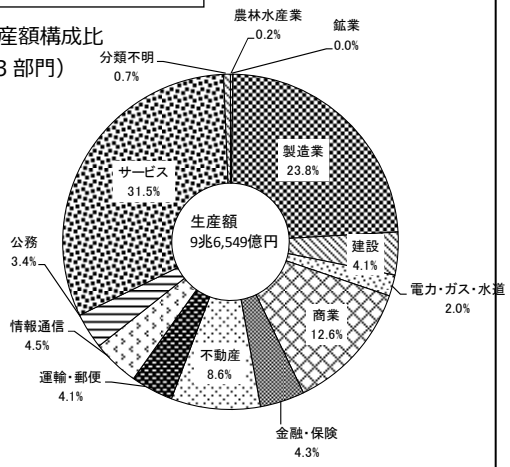
ここでは，その産業連関表から見た京都市の産業の特徴について，ご紹介します。

「平成 23 年（2011 年）京都市産業連関表」から見た京都市産業の主な特徴

■市内生産額は府の約 58%，国の約 1%

平成 23 年の市内生産額は，9 兆 6,549 億円で，
京都府生産額（16 兆 5,722 億円）の約 58.3%，
国内生産額（939 兆 6,749 億円）の約 1.0%を占める。

市内生産額構成比
（13 部門）



（産業部門 13 部門）

■市内生産額の約 55%が「サービス業」，「製造業」

「サービス業（31.5%）」と「製造業（23.8%）」
を合わせて 55.3%と過半数を占める。

▼ もっと詳しく！

（産業部門 37 部門）

■市内生産額の上位は，「商業」や「対個人サービス（※1）」，「医療・福祉」等。

■他の地域と比べて「製造業」や「観光産業」が盛ん

特化係数（※2）では，「業務用機械」や「その他の製造工業製品」，「繊維製品」などの製造業や，「対個人サービス」等が高く，「製造業」や「観光産業」が盛んであることが分かります。

■市際収支は，2,438 億円の黒字

市外との取引を表す市際収支では，＋2,438 億円と，国でいう貿易黒字の状況。
「対個人サービス」が 1 位。「飲食料品」や「業務用機械」等の製造業も上位に。

37部門で見た京都市産業の主な特徴

	市内生産額				市際収支（百万円）	
	生産額（百万円）（構成比（%））		特化係数			
1	商業	1,218,822（12.6）	業務用機械	3.11	対個人サービス	247,668
2	対個人サービス	909,790（9.4）	その他の製造工業製品	2.27	飲食料品	202,101
3	医療・福祉	882,323（9.1）	繊維製品	2.21	教育・研究	174,250
4	不動産	830,210（8.6）	飲食料品	2.05	業務用機械	155,832
5	飲食料品	748,552（7.8）	対個人サービス	1.68	商業	146,882

【注】※1 観光産業の中心的な産業である宿泊業や飲食サービスが多くの割合で含まれる。
※2 ある産業の市内産業全体に占める構成比が，同じ産業の全国での構成比の何倍になるかを示したもの。

参考：産業連関表とは

産業連関表とは，１年間に京都市内において，産業間や産業と家計等との間で行われた生産物（財・サービス）の相互取引の状態を一覧表形式に表したもので，本市の経済構造を総体的に明らかにするとともに，経済波及効果の推計などに活用することができるものです。

※ 詳細は，コチラをクリック！！ ⇒ 京都市 産業連関表